

おじやまします！

今回は国内外に販路を広げ活躍するものづくり企業を訪問し、海外展開のヒントを探りました。

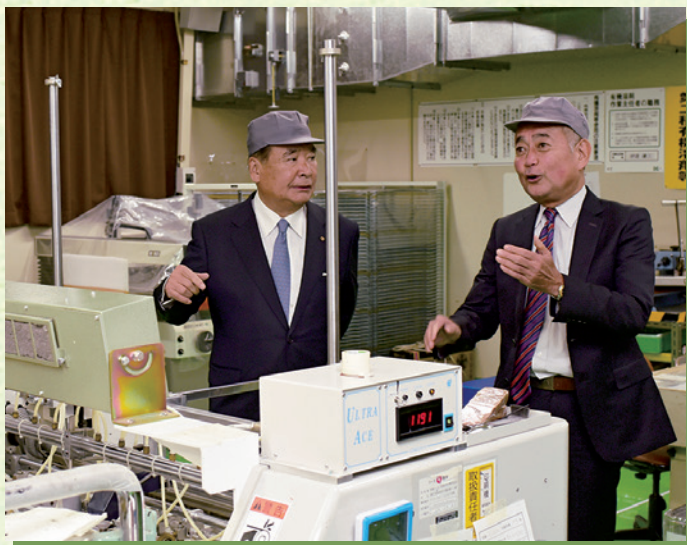


竹中相談役(左)、竹中会長(中央)にショールームをご案内いただきました

機械の目で安心・安全を守る

竹中エンジニアリング株式会社

代表者/竹中 慎一
住 所/山科区東野五条通外環西入 83-1
TEL/075-592-2222
URL/http://www.takex-eng.co.jp/
事業内容/防犯・情報機器の研究開発(製)販



松井社長に京都工場をご案内いただきました

新しい“色”の追及

株式会社松井色素化学工業所

代表者/松井 晴彦
住 所/山科区上山山桜谷町64
TEL/075-594-5611
URL/http://www.msc-color.co.jp/
事業内容/衣料用染色剤・衣料用転写紙・感温、
感光機能性色素(製)

竹中エンジニアリング(株)は、竹中センサーグループの中核企業として、防犯用センサーの製造販売を目的に昭和47年に設立されました。起源は、昭和34年に創業者の竹中相談役が開発した日本初のトランジスタ式光電子センサー・光電子カウンタで、生産効率化を目指す製造業から注目を集めました。弛まぬ技術革新により小型化・少量化を実現し、防犯・産業用など、製品市場ごとに分社化し、互いに競い合っています。竹中会長は「当社は工場を持たないファブレス企業。研究開発と販売部門に経営資源を惜しみなく投入しています」と特長を語ります。防犯業界はソフトや通信技術の進歩にあわせて顧客の要望も多様化しており、「特注仕様が多く、高品質、高付加価値の製品が当社の強み」と差別化を図っています。視覚情報を電気信号に変えるセンサーは「機械の目」。その高い技術力や提案力が国内外で評価され、守秘性の求められる官公庁や文化施設などに幅広く導入され、人々の生命・財産・快適を守っています。

㈱松井色素化学工業所は、大正12年に絵具商として創業し、以来80余年にわたり新しい“色”を追求しています。戦後より捺染用顔料の製造に着手し、現在の業態の礎を築き、衣料品への水性インクやブランドロゴに使用する転写紙、温度や光で色が変わる機能色素を事業の主軸としています。昭和62年に北米に販売子会社を開設以降、海外比率が年々高まる中、商社に頼らず少数精鋭の営業部門が世界を股にかけて、現在は売上7割を占めるまでに成長しています。松井社長は「リーマンショック以降の円高で非常に苦労した。生産効率化や社内レートを厳しく見直し、危機管理に備えている」と海外情勢を注視しています。品質・機能性・豊かな色彩の実現には高い技術を要します。高水準の生産管理を維持するため、製造部門を京都に集約、転写紙はグローバルブランドからの受注が好調で工場もフル稼働です。「世界で認められた品質を活かして、新たなニーズを掘り起こしていきたい」と今後の意気込みを語っていただきました。

会頭のひとこと

今回訪問した2社は、研究開発に力を入れるものづくり企業で、ニッチ分野で国内外から高い評価を得ています。多品種少量、高品質・高付加価値により、高い価格競争力を誇る京都らしい知恵ビジネス企業です。